

しおじり

平成25年7月15日

No. 186

5月臨時会 合併号
6月定例会

市議会だより



ささゆり（北小野）

発行 塩尻市議会
〒399-0786
長野県塩尻市大門七番町3番3号
電話 (0263) 52-0280 FAX (0263) 52-3969

前号の訂正

しおじり市議会だより4月15日号5ページの「こう使われます!! 市の予算」の記事中、「(仮称) ふれあいセンター広丘建設事業設計委託料2003万円」とあるのは、「2030万円」の誤りでした。お詫びして、訂正します。

もくじ

5月臨時会トピックス	2~3
6月定例会トピックス	4
委員会の焦点	5
一般質問の要旨	6~10
議会報告会報告書	11~14
提出された議案及び議決結果	15
市民の声・議会あれこれ ほか	16

議会トピックス

▼申し合わせ任期満了に伴う正副議長選挙を実施

▼各常任委員会・特別委員会正副委員長を選出

※ 塩尻市議会では、議員任期4年の内、議会内の申し合わせによって、2年ごとに正副議長及び各委員会構成の改選を行っています。

5月臨時会

5月13日
5月14日

議長あいさつ

5月臨時会において議長に選任いただき、その重責に對し身の引き締まる思いであります。

地方主権の流れの中で、時代にあつた議会改革を一層進めてまいります。

どんな問題でも真正面から真剣に取り組み、議論した上での決定事項については、議会一体となって協力し合い、風通しの良い、市民に信頼される塩尻市議会を作ってまいります。

私なりに粉骨砕身全力で職務に当たりますので、今後も市民各位のご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。



副議長
中村 努



議長
五味 東条

◎=委員長
○=副委員長

中原 輝明	柴田 博	森川 雄三	山口 恵子	横沢 英一
塩原 政治	柴田 博	青柳 充茂	山口 恵子	古畑 秀夫

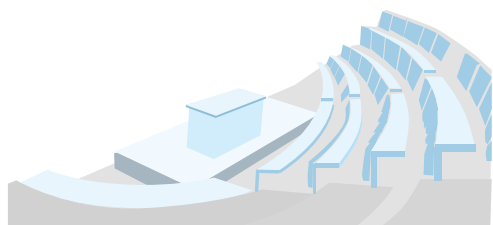
総務環境委員会 8名
所管
行財政・情報化・防災対策・地域振興・環境・住民異動・国民健康保険・健康推進に関すること

永田 公由	中原巳年男	務台 昭	五味 東条	宮田 伸子
永田 公由	金田 興一	務台 昭	五味 東条	宮田 伸子

福祉教育委員会 7名
所管
福祉・教育・文化・青少年・子育て支援・市民交流センターに関すること

丸山 寿子	中村 努	牧野 直樹	金子 勝寿	西條 富雄
丸山 寿子	永井 泰仁	牧野 直樹	金子 勝寿	青木 博文

経済建設委員会 7名
所管
観光・商工・農林・建設・都市計画・交通安全対策・上下水道に関すること



**5月臨時会で決まった
議会人事構成**

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

所管
議会運営全般に関すること

市街地活性化特別委員会

所管
市街地の活性化に関すること

◎永井 泰仁 ○山口 恵子
金子 勝寿 古畑 秀夫
金田 興一 森川 雄三
中原巳年男 鈴木 明子
塩原 政治

地域開発特別委員会

所管
地域開発及び新体育館に関すること

◎牧野 直樹 ○丸山 寿子
五味 東条 山口 恵子
金田 興一 永井 泰仁
森川 雄三 中原巳年男
柴田 博 永田 公由
中原 輝明

◎西條 富雄 ○青木 博文
宮田 伸子 横沢 英一
務台 昭 金子 勝寿
古畑 秀夫 中村 充茂
鈴木 明子 青柳 充茂
塩原 政治 中村 努

議会基本条例推進委員会

所管
塩尻市議会基本条例に基づく具体的
施策に関すること

部会
議会改革政策部会
広報部会
交流部会の三部会を設置

◎丸山 寿子 ○宮田 伸子
横沢 英一 西條 富雄
青木 博文 金子 勝寿
山口 恵子 青柳 充茂
柴田 博



5月臨時会の投票の様子

議会改革政策部会

所管
議会改革の推進、議会の機能強化に
関すること

◎金子 勝寿 ○中村 努
青木 博文 金田 興一
森川 雄三 柴田 充茂
丸山 寿子 柴田 博

広報部会

所管
市議会だよりなどの広報活動や、新
たな情報発信の手法に関すること

◎鈴木 明子 ○宮田 伸子
五味 東条 横沢 英一
山口 恵子 古畑 秀夫
永井 泰仁

交流部会

所管
議会報告会・市内外の団体（他市町
村議会含む）と議会の交流活動の計
画・立案・運営に関すること

◎中原巳年男 ○西條 富雄
務台 昭 牧野 直樹
塩原 政治 永田 公由
中原 輝明



松本広域連合議会議員
一部事務組合議会議員

◎松本広域連合議会議員
五味 東条 中村 努
永田 公由 中原 輝明

《一部事務組合議会議員》
塩尻市辰野町中学校組合議会議員
宮田 伸子 横沢 英一
金田 興一

辰野町塩尻市小学校組合議会議員
宮田 伸子 横沢 英一
金田 興一

松塩筑木曾老人福祉施設組合議会議員
五味 東条 中村 努
宮田 伸子

両小野国保病院組合議会議員
宮田 伸子 横沢 英一
鈴木 明子

松塩地区広域施設組合議会議員
金子 勝寿 中村 努
五味 東条 丸山 寿子

5月臨時会に提出された議案及び議決結果

市長提出議案（6件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
議案1号	塩尻市環境基本条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決
2号	塩尻市差別をなくし人権を擁護する条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決
3号	塩尻市男女共同参画基本条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決
報告1号	塩尻市税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	-	-	承認
2号	塩尻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	-	-	承認
3号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理

議員提出議案（1件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
議会1号	塩尻市議会委員会条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決

議会トピックス

▼国民健康保険税年額平均7,607円の引き上げを可決

▼国民健康保険制度への国庫負担の増額を求める意見書を可決

▼降雪・凍霜害による被害対策の補助金を含む補正予算を可決

6月定例会

6月3日
～
6月21日

6月定例会概要

6月定例会では、人事案件5件、事件案件1件を含む市長提出議案計36件と、市民等からの請願・陳情4件、議員提出議案5件について審査を行いました。

主な議案

○議案第1号 塩尻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

塩尻市国民健康保険事業特別会計の健全化を図るため、平成25年度と28年度の2段階に分け、税率等の見直しをすることに伴い、必要な改正をするもので、平均で8.77%、7千607円の引き上げになるもの。
○議案第4号 塩尻市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例

塩尻市公の施設指定管理者選定審査会の組織の見直しを行うことなどに伴い、審査会の委員に識見を有する者を加えるなど、必要な改正をするもの。

○議案第5号 塩尻市国民健康保険榑川診療所条例の一部を改正する条例

施設運営の効率化及び利用

者へのサービスの向上を図るため、民間事業者等の能力を活用する指定管理者制度を、塩尻市国民健康保険榑川診療所の管理等に導入することに伴い、必要な改正をするもの。
○議案第8号 塩尻市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

道路法施行令の一部が平成25年4月1日に改正されたことに伴い、太陽光発電設備及び風力発電設備に係る占用料を新たに設けるため、必要な改正をするもの。

○議案第18号 平成25年度塩尻市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出ともに2億5千153万2千円を増額し、予算総額を269億153万2千円とするもの。



本会議のようす

歳出の主なものは、総務費では、住民情報システムの再構築に伴い、現行システムからのデータ移行委託料を補正するもの。農林水産業費では、4月下旬から5月上旬にかけての、降雪・凍霜害による農作物への深刻な被害を受け、その対策として農作物等災害緊急対策事業補助金を補正するもの。また、信州Fパワープロジェクトに関連し、塩尻市森林資源活用モデルプラザを構築するための業務委託料を補正するもの。商工費では、オープンソース・ソフトウェアを活用した産業振興を新たに展開するため、塩尻市振興公社への委託料を計上するもの。土木費では、交通量の多い市道芦ノ田原村線の、歩行者の安全確保を図るため、用地取得費及び改良工事費など、歩道を整備するための事業費を計上するもの。
○議案第1号 国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書

国民健康保険制度を将来にわたり安定的に持続可能とするため、国に対し国庫負担割合の引き上げを強く求める意見書を提出するもの。

請願・陳情

市民からの請願3件、陳情1件について審査を行い、関係行政庁に意見書を提出することとしました。

○議会第2号 長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書

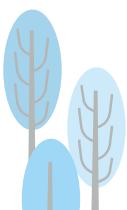
○議会第3号 地方財政の充実・強化を求める意見書

○議会第4号 「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する意見書

○議会第5号 官行造林契約の見直しに関する意見書



委員会で請願・陳情者が説明



委員会の焦点

～委員会審査報告から～

凍霜害支援に補正予算

経済建設委員会

経済建設委員会に付託された議案は、条例案件6件、事件案件1件、予算案件1件で、慎重審査の結果、いずれも全員の一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決しました。請願は1件で、慎重審査の結果、採択す

べきものとし、意見書を政府及び関係行政に提出するものとなりました。条例案件では、商工業振興条例の一部の改正に伴い、審議会の委員は女性2名を含めた15名で構成し、商工業振興計画の策定、地域雇用問題等を審議していくとの説明がありました。平成25年度塩尻市一般会計補正予算では、4月に凍霜害

を受けた農家を支援するため、果樹の樹勢回復の肥料購入や病害虫の防除のための費用の全額補助として、3千59万円余を計上し、また農家の借入金の子補給に25万円、雨よけハウスの補助に75万円を計上したとの答弁がありました。委員会終了後、拡張オープン前日の小坂田公園マレットゴルフ場を視察しました。

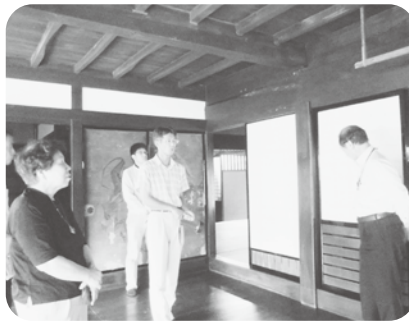


小坂田公園マレットゴルフ場
拡張オープン

義務教育費に関する 請願採択、国へ意見書を

福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された議案は、人事案件2件、予算案件1件で慎重審査の結果人事案件2件については、全員の一致で同意することにまた、予算案件についてはは全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



国指定重要文化財 小野家を視察

請願6月第1号「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する請願については全員の一致をもって採択すべきものと決し、国へ意見書を提出することとしました。平成25年度一般会計補正予算について、社会福祉費の生活保護総務費については、8月から生活保護費の扶助費が見直されることに伴い、現在

使用中のシステムの必要な改修を行うものとの説明があり、委員より予算編成時点ではわからなかったのか、当初予算にも同名目の予算が計上されているがどうかとの質問があり、明確にはわからなかった、通常の保守点検に乗せして必要であるとの答弁がありました。

国保税8.77%引き上げ

総務環境委員会

当委員会に付託された議案は、条例案件6件、人事案件2件、予算案件2件、議員提出議案1件の合計11件及び請願1件と陳情1件について、慎重審査の結果、議案は原案どおり可決・同意すべきもの、請願陳情は採択すべ

きものと決しました。焦点の国民健康保険税条例の増額については、平成25年度から27年度の歳入不足が予測され、財源の健全化を図るためには、引き上げが必要であり、内訳の算出内容は所得割・均等割・平等割は増額し、資産割は減額する。また、公



指定管理者制度が導入される榑川診療所

部委員ではなく、見識を有する外部からの者を主とし、7名以内で市長が委嘱又は任命する。現在指定管理をしている施設は41件です。国民健康保険榑川診療所条例の一部を改正する条例については、施設運営の効率化や利用者へのサービス向上を図るため、指定管理者制度を適用するものです。

市政を問う!!

一般質問の要旨

質問者

丸山寿子

山口恵子

中村 努

西條富雄

柴田 博

鈴木明子

横沢英一

牧野直樹

宮田伸子

青柳充茂

(質問順)

※本文は質問者自身の原稿によるものです

元気ある街づくりを

◆連携しブランドづくりを

問 市内にある3試験場と連携し、開発された商品のブランド化と活用は。(横沢)

答 あやみどり、そば等連携を深め、塩尻生まれ等をアピールしながら活用し、塩尻ブランド振興を図りたい。

◆空き家対策について

問 空き家バンクの成約数はどうか。都市計画区域の物件も登録対象にすべきだ。適正管理条例の進捗状況や制定に向け、めどはどうか。(中村)

答 いまだ成約には至っていない。登録区域の変更は考えていない。空き地の管理を含めた条例を鋭意検討中である。



あやみどりを使用した製品



清内路の花もも街道

◆住宅リフォーム助成制度

問 今年度の受付は、開始日の昼には予算額に達し、会場に来ていた人でも約40人が申請できなかった。これだけ多くの要望があるのだから、当日分だけでも補正予算で対応すべきではないか。(柴田)

答 限られた予算の中でやっているもので、基本的には今年度の予算で終了としたい。

◆農山村地域の活性化施策を

問 農山村部6地区は人口減少、少子・高齢化も進んでいる。活性化施策の現状は。(横沢)

答 農山村地域の新たな未来像を創造し、進むべき方向を探るため、庁内にプロジェクトチームを設置し提案をいただいた。

計画実施には中・長期的な展望と地域の状況に応じた事

業計画が必要であり、その中で地域おこし協力隊等の実施による、コーディネート配置等を含め検討を行っている。◆環境と共生するまちづくりについて

問 桜やハナモモなどの木の市民オーナー制度導入で、市内に名勝づくりを。(西條)

答 緑のまちづくり事業で樹木を交付し緑化促進を図る。

凍霜被害に積極支援

◆農業再生の道筋を示せ

問 農業再生や地域ブランド戦略は、背景も目的も理解できるが、具体的に達成すべき目標や道筋が示されておらず、現状がどの辺にいいのか見えない。(青柳)



柿沢苗圃跡地のぶどう畑



11月まで毎月1回行われる
しおじり地産地消フェア

問 個々の事業の成果は上がっているが、1次産業から3次産業まで関わる幅広い取り組みで時間がかかるのが一つの課題だ。

問 6次産業化が核戦略ならば、市にも相談窓口を設置するよう提案したい。(青柳)

◆強力に農家支援を

問 4月の凍霜害は特に深刻だ。全ての農家を支援すべきである。精神的なダメージが大きく再建への対応が必要だが、取り組みは。(山口)

答 今回は作物の生育が進んでいたところへ、かつてない厳しい寒さが原因で、特にナシは壊滅的な園もある。果樹野菜農家全体に、農薬・肥料・花粉・代替用の苗や種など全額を支援したい。

◆低温など農業被害への対応

問 凍霜被害は甚大で農家へ

自然エネルギー政策の前進を

◆エネルギービジョンの活用

問 市の新エネ・省エネ両ビジョンの生かし方は。(丸山)

答 東日本大震災後、国や国民の意識も変化している。市の第二次環境基本計画策定の中で新エネ・省エネを含め実

の対策支援の状況及び果樹共済の課題は何か。(鈴木)

答 緊急対策等も従来に比べ、次元の違う対応に努めている。流通コーディネーター、JAの協力による被害作物の販路開拓、市内量販店での応援フェア等収入に繋がる支援に努める。共済は無償部分、保償金支払時期などの改善が課題である。



凍霜被害により実のつかない梨



ペレット燃料とストーブ

効性のある見直しを行う。

◆信州Fパワープロジェクト

問 製材など既存事業から分離し経営管理する方が結局は関係者全員の利益になる。発電部門の別会社化を。(青柳)

◆信州Fパワープロジェクト関連事業を効果的に

問 県産材利用推進の取り組み状況はどうか。(丸山)

答 本市も県も木造公共施設整備により推進してきている。国は本年度から「木材利用ポイント事業」導入により地域の木材振興も図っていく。

問 製材時に発生する「おが粉」を活用してのペレット生産の可能性はどうか。(丸山)

答 原油よりペレット燃料は販売価格が安定的で市内製造が可能なら輸送コストもかからないが、専用のストープ等の普及も課題。研究していく。

◆(仮称)吉田西地区防災コミュニティ施設

問 完成を心待ちにしている。管理運営方針は。(中村)

答 地元区への指定管理の方法を検討しており、区長会を中心に協議をお願いする。

◆光ファイバーで災害対策を

問 市内に配備されている、光ファイバーネットワークを活用し、行き届いた災害防止対策を。(横沢)

答 産・学・官で開発し、市内企業も参加実証実施している土石流センサー、水計、傾斜計等を活用した災害防止対

地域の安全対策の強化を



県産材を活用した広丘野村保育園



産・学・官で行われている、山林傾斜部の深さ毎の水分調査・データ送信機器

策を検討したい。

◆消防団員の確保について
消防団活動に対する市長の考えは。(宮田)

答 強制力はなく、究極のボランティア活動である。団員が認められる受益を検討する。

高齢者もいきいき暮らせるまち

◆高齢者に優しいまちづくり

問 高齢化率・人口構成を鑑みて、大胆な発想で高齢者に優しいまちづくりは。(西條)

答 高齢者と子どもに優しいまちづくりを研究していく。

◆生活保護行政について

問 法律が改定されると申請書と書類の添付が必要になる。国は法律が変わっても運用方

法はこれまでと変わらないといっているが、実際にそのようなことは可能か。(柴田)

答 本人の意志の確認のために申請書は書いていただく。また、すみやかな保護の決定のために早期に必要な書類を提出してもらうことについては、今までと同様である。

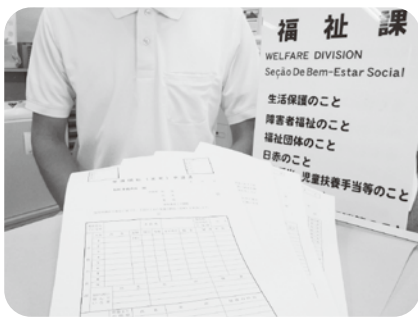
◆(仮称)ふれあいセンター
広丘について

問 「ふれあいセンター」として北部、西部、東部の3圏域ごとの整備方針は。(牧野)

答 いずれの施設も、日常生活圏域ごとに地域福祉を推進していく上で必要な施設として考えており、多くの地域住民の方に利用される施設となるよう検討している。

問 北部圏域の区長さん方の意見総意について。(牧野)

答 5月に開催された意見交



生活保護申請窓口



(仮称)ふれあいセンター広丘建設予定地

換会では、北部圏域の区長さん方の意見の総意としては、「要望書に沿った基本計画の策定を進めてほしい」という意見が総括かと思う。

問 3つの圏域における施設建設の公平性、平等性の上からも入浴施設は必要だと思いがいかがか。(牧野)

答 市民や地域組織が主体となって自ら事業を考え、その目的に沿い、運営に参画していくことが必要と考えるが、北部圏域の区長さん方の意見をお聞きする中で、要望書に沿って市と連携して施設建設や、事業の企画、運営に取り組んでいくという参画の意志と協働の姿が見え、施設に寄せる熱意も伝わったので、よりよい方向で合意できるよう進めていく。

◆住宅改修費負担の軽減を

問 介護保険に改修費の9割分を給付するサービスがある。一旦は全額(上限20万円)が必要、手続きを変更し受領委任払いと償還払いとの選択制にする考えは。(山口)

答 今後は利用者の増加が見込まれるが、業者の協力が必要であり検討していく。

子ども・子育て支援を

◆子育て支援について

問 学校給食は教育の一環である。教育条件整備、子育て世代支援として給食費補助の検討、実施を。(鈴木)

答 公会計化の実施、児童手当からの天引きで納付、徴収



自校給食で豊かな食育



求職中も入園可能

の負担軽減ができた。食材費は父母負担が原則。今後、食材の値上がりなど、栄養確保上問題が生じた時などには検討することも考えられる。

問 保育料は近隣で無料化に踏み切る所もある。労働環境の厳しい中、子育て支援、少子化対策で負担軽減への考えはどうか。また、求職中の入園申込みは可能か。(鈴木)

答 平成17年度改定を行い、現在も市の保育料は国基準比で30%減額となっており、見直しの考えはない。「求職中」については申込み要件となっており、3カ月間は保育園に預けての求職活動ができる。年度途中でも対応する。

◆教育相談体制の充実を

問 第三者機関による相談窓口設置の考えは。(宮田)

答 学校や教育委員会がより

相談しやすい窓口を目指す。**問** 相談窓口の必要性を調査してはどうか。(宮田)

答 調査する。

◆読書活動環境の充実を

問 学校図書館のデータ化に伴い、蔵書を学校間で入れ替えてはどうか。(宮田)

答 司書と相談し、図書の有効活用をしていきたい。

問 高額な図書セットが、学校規模に関わらず購入できるよう、予算配分の配慮が必要ではないか。(宮田)

答 学校の規模で不平等が起こらないようにする。

◆子どもの支援体制の充実

問 学校スーパードバイザー設置の目的と内容は。(丸山)

答 不登校や課題を抱える児童生徒への支援に取り組んできたが、小学校から中学校までの連続性の強化も必要と考



充実が求められる学校図書館



塩尻児童館

え養護教諭資格者を採用し、相談員等とチームを組んで市内全小中学校を訪問。児童生徒の支援だけでなく、保護者や教職員へのカウンセリング等の支援もしていく。

◆子どもの権利相談室等の仕組みづくりについて

問 子どもの権利を守り成長支援する仕組みは。(西條)

答 学校・家庭・行政・関係機関が協力して取り組んでいく。

◆放課後児童対策について

問 親の働き方や安心安全な環境を守るため、児童クラブ等の運用を見直すべきだ。子ども子育て3法の成立により、児童クラブ利用の対象が低学年から6年生まで拡大、自治体での条例化が決まっているが、市の準備状況はどうか。設置目的も運営も違う児童

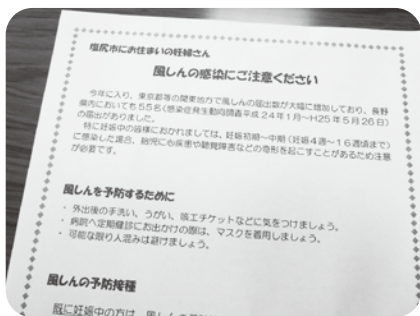
館・児童クラブは将来的に分けるべきだ。(中村)

答 4年生以上の利用の希望も多い。条例については設置基準等まだ示されていないため、決まり次第必要な対応は考える。当面の対策として、今夏休みから長期休業時に4年生以上を児童クラブで引き受ける。通常については、地域の公共施設の活用も踏まえ運用方法を検討する。



◆予防接種で風疹予防を

問 流行が拡大している。妊婦への感染防止に妊婦の夫などに接種補助の考えは。(山口)





母子健康手帳の予防接種のページ

答 風疹感染は20代、40代の男性が8割を占めている。妊娠中は接種ができないため周囲の協力が必要。接種の呼び掛けや注意喚起に取り組む。

◆生活環境を守るについて

問 新型ウィルスや薬剤耐性ウィルス・食中毒対策は。

(西條)

答 「塩尻市新型インフルエンザ対策行動計画」の見直し、衛生管理方法の継続・強化徹底をする。

◆安心して生み育てられる環境について

問 風疹の大流行で、ワクチン接種費用補助を。妊婦の夫や妊娠を希望している女性への無料化は。

(西條)

答 予防接種の呼びかけ等の取り組みを強化する。



現在は電子化されている例規集

第五次 総合計画策定 に向けて

◆塩尻市金銭物品等の寄付募集に関する条例について

問 制定から50年以上が経ち時代に即していないこの条例を廃止してはどうか。(宮田)

答 廃止の方向で検討する。

◆職員の資質向上を目指して

問 係長クラスの民間への、短期社外研修を。(宮田)

答 係長として、研修の目的・場所を検討はしている。

問 多面評価制度を導入してはどうか。(宮田)

答 メリット・デメリットを含め、今後研究する。

◆監査体制の強化を

問 監査の事務局体制は、県

下の中でも大変脆弱だ。大丈夫か。(横沢)

答 行政評価を高めたので、これまで以上に監査機能が強化されたと考えている。しかし事務局体制については、今後検討していきたい。

◆選挙権は最も重要な権利

問 成年後見制度利用者の選挙権について対応は。(山口)

答 公職選挙法の改正により選挙権は回復された。投票所の入場券が発行される。

◆憲法96条改正について

問 安倍首相は憲法96条を改定し、改憲発議の要件を「2/3以上」から「過半数」に緩めようとしている。主権者である国民が、国家権力を縛るために一般の法律より厳しい手続きとしているものだが、憲法96条改正について市長の考えはどうか。(柴田)

答 第五次総合計画では、事業の重点化、スマート化、行政の役割など明確にし、選択と集中を図るなど戦略的な策定方針を定めたところだ。



塩尻市社会福祉協議会事務所に設置された塩尻市成年後見支援センター

答 国の最高規律である憲法の改憲発議の要件を2/3以上とすることは必ずしも厳しい条件ではないと考える。



活性化に取り組む大門商店街

◆市長の政治姿勢と総合計画

問 第四次総合計画で目指した姿と現実と乖離があると思う。組織や人材適所に問題があったのでは。市長でなければ出来ない反省を次期計画策定に活かしてほしい。(青柳)

問 市長が市民との対話を重視して始めた飛び込み市民会議は、23、24年度とも開催ゼロだ。言葉は多くても伝わってくるものが乏しい答弁だと云わざるを得ない。(青柳)

より開かれた議会を目指して

塩尻市議会

第4回議会報告会を開催しました

議会報告会の
報告を掲載します

4月22日から27日の内5日間、にわたり、市内10地区中、榑川、吉田、片丘、大門、塩尻東で第4回議会報告会を区長会のご協力をいただき開催しました。議会が各地へ出向き、地域の課題について議会として市民の声を聞く方針のもと実施しました。

今回の報告会は約2時間の中で、3月定例会での各常任委員会審査報告の後、信州Fパワープロジェクトに関する議会報告を行い、参加者の皆さんと意見交換を行いました。今回は信州Fパワープロジェクトについてのテーマを設定し、より詳しい報告を行うとともに、地区の課題をあらかじめ聞き取り、それに対する意見を募りました。当日は参加者の皆さんから様々な質問やご意見をいただき、議員が議会としての視点でお答えしました。

なお、紙面の都合上、ここでは内容の一部のみを掲載しました。詳細な内容は、塩尻市議会ホームページに掲載しましたのでご覧ください。

■ 第4回議会報告会担当表

開催日	時間	対象地区	場所	担当班	サポート班
4月22日(月)	午後7時～9時	榑川	榑川支所	2班	3班
4月23日(火)	午後7時30分～9時30分	吉田	吉田地区センター	3班	1班
4月25日(木)	午後7時30分～9時30分	片丘	片丘支所	2班	1班
4月26日(金)	午後7時～9時	大門	市民交流センター	1班	2班
4月27日(土)	午後7時～9時	塩尻東	塩尻東地区センター	1班	3班

※ 正副議長は班には所属せず、総括として出席しています。

- 班編成
- 1班 宮田伸子、横沢英一、金子勝寿、牧野直樹
 - 2班 鈴木明子、五味東条、青木博文、古畑秀夫
 - 3班 森川雄三、青柳充茂、中原巳年男、丸山寿子、中原輝明、西條富雄、務台 昭、山口恵子、永井泰仁、中村 努、柴田 博、塩原政治

榑川



榑川支所 (4月22日)

問 榑川診療所の指定管理者制度について、医者に施設を貸して経営権を任せることで良いのか。出来れば、市営で信頼できる医師にやって欲しい。採算が合わないので指定管理者にするというのはおかしい。

答 指定管理者は、市が委託し、高齢の先生の負担を軽減するため、他の大きい病院等へ依頼して行くもので、サービスの低下ではない。最終判断はこれからで、市が手を引くということではないので、ご理解をお願いしたい。

問 官行造林の榑川3地区の契約解除期限が、平成26年3月31日に迫っている。林野庁との当初契

約以降、90年間続いてきたもので、保安林、水源涵養林の役目を担っており、松塩用水の水源でもあり、契約の延長を、国や県に働きかけて欲しい。

答 官行造林について、中部森林管理局では、買って欲しい、との意向もある。本来は国策事業であり、国がどのくらいで買えといっているのかわからない。市長に要望書も出ている。森林事務所の機能継続も含め、国等へ、議会として請願や陳情の方向で研究していく。

問 「市議会だより」に生活保護費について掲載されていたが、生活保護について状況はどうなのか。

答 1月末の受給者は、235世帯345人(5.1%)です。とりわけ、65歳以上の高齢世帯の医療扶助と健康で職が無く働けない、その他世帯で60%以上占めている。

問 信州Fパワープロジェクトで、継続していくのに原木の確保は大丈夫か。

答 搬出範囲を、30km、50km、100kmと随時拡大し、県森林組合が調達する。県森林組合の試算では、毎年、成長木が200万mなので、80%伐採しても対応できる。

吉田



吉田地区センター（4月23日）

問 バイオマス発電から出る温水を農業利用すると聞いたが、農業就労者が高齢化で心配。

答 熱利用は初期投資もかなり大きく、難しい。排出された熱を利用する際、業者に贈与税がかかるという問題もある。全国的にも例が少ないため、時間を十分にかけ研究する。

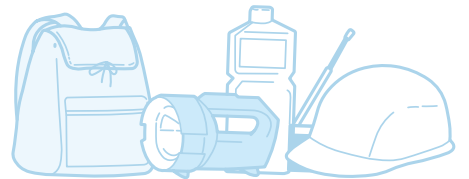
問 えびの子東通線について、拡幅されているがまだのところがある。エプソンへの通勤車で交通量が多く、小中学生の通学路であり、大変危険。

答 広丘東通線は450m終了している。北へ75m、6千万円の工事が、農閑期に今後予定。東通線、角前工業団地で止まっている。丘中の通学路は拡

幅が決まっている。**問** 東通線の延長であり、吉田小学校の通学路、拡幅されたセブンイレブン前に信号機の設置を。

答 信号機の設置は警察が行うが、市からも要望を出している。PTAからもう一つの信号の要望が出ており、そちらのほうを優先で作るようだ。24年度通学路の合同安全点検を行い、危険箇所として点検されている。看板設置横断旗の設置を24年度補正予算で対応し、出来ることから順次行っている。**問** 行政との意見交換の際、(仮称)吉田西地区防災コミュニケーション施設を日常は西公民館として使っているため、公民館として充実させてほしいと言ったら、「この建物は市のものでだから」と言われた。地元で使いやすい、健康増進などができるような施設にして欲しい。**答** まだいろいろ決まっていないが、完成までは建設事業部、管理運営は生涯学習部がする。西公民館としての機能と、地元の皆さんが集会所として使う機能が損なわれないような運営ができるかと聞いている。市が使い方を決めて、地元の吉田地区に指定管理となる。市内初のモデルになるようにしたい。

「各地区からの意見」



片丘

問 信州Fパワープロジェクトの運搬ルートの道路改修については、バイパスからの急カーブの改修だけでなく、その先の山麓線にはまだまだ狭いところもあるので、これで終りにならないようにしてほしい。**答** 千本原の拡幅については6月で補正を組む予定。出来るだけ地元の要望に沿った改良を加えていくという。区長会等を通じてあげて頂けたら対応していくということ。

問 国保税がまた値上げされる。年金生活者の負担が増える。他市との関係や将来に向けての案があれば教えてほしい。**答** 税率改定の答申をした。国保運営協議会で4回会議を重ね、市から提案された3案のうち1案をとった。低所得者、中所得者の負担が少ないものを選んだ。また、今回は資産割にも配慮した。市では健全化指針を策定して、健全化に努めていく。**問** 信州Fパワープロジェクトに関して、集中型木材加工の具体性は。**答** 征矢野建材だけだと資本力もない。大建工業は中国を中心に販路



片丘支所（4月25日）

を持っているのでここに乘せていく。これに関して出資して行く。責任をもってやって行かないといけないと思っ

ている。あくまでもこれは、市とは切り離して考えてもらいたい。**問** どちらかの事業が倒れた場合バイオマス発電だけでやっていけるのか。**答** それに関しては、業者になるけれども、バイオマス発電だけでも相当な金額になるので、やっていけると聞いている。**問** 松くい虫の木材はチップにして持ち込むと聞いたが、塩尻にはチップ工場がない。他へ持っていくかどうかはならない。そのあたりはどうか。**答** 現地でチップ化してくるので、松くい虫などの心配はいらない。

大 門

問 行政評価委員会に関連して目的と体制、そして議会としては行政評価をどう取り組むのかについて聞きたい。**答** 行政の透明性、コストなどをトータルして考えることが行政評価のしくみ。議会としては、まだ具体化したものはない。今後、注視していきたい。

問 議会基本条例の第7条に、「市民の多様な声を聞く場をもつ」とあるが、この議会報告会以外に他のチャネルがあるのか。**答** 議会報告会のように不特定多数の市民の皆さんとの交流と、それ以外の市内各種団体等との交流は、交流部会が担当して行っている。**問** 両小野中学校は、塩尻市辰野町中学校組合という枠で、予算、決算が出される。これは、塩尻市の予算に合算されているのか、別枠なのか。**答** 塩尻市と辰野町との組合立なので生徒数に応じて分担して運営している。**問** 予算について、市議会のほうが早く審議が済んでいて、後日組合議会で議決している。この前後の関係は、どのように理解したらよいか。**答** 活動そのもの



市民交流センター（4月26日）

は一部事務組合としてやっている。塩尻市からの拠出金は別の問題であるが、われわれが別の組合の議会の内容がどうのという立場にはない。

問 信州Fパワープロジェクトの中で製材された木材は県産材として力を入れて使われるのか。**答** 高層階の建物にも木が使えるような傾向になっている。販売については流れの中では聞いているが、具体的には聞いていない。**問** 発電設備の冷却水に水道水を使用ということだが、塩尻市は水源地にありながら水道料金が高い。採算にどう関係するのか。**答** 採算性については民間ベースで試算している。水道水については、片丘浄水場の整備が済み、十分余力があると聞いている。



塩 尻 東

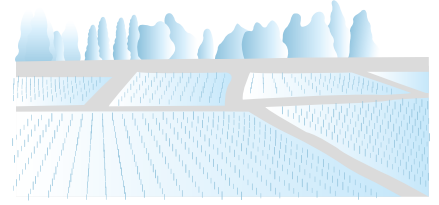
問 庁舎耐震について、必要な経費として理解するが、もっと早くすべきであった。地下水を活用した空調システムの導入を考えたかどうか。信州大学工学部の社会実験は済んでいて、活用事例も出てきたと聞く。**答** 庁舎耐震化は、平成25、26年の2力年で約9億円の事業費で行う。自然エネルギーの活用としては、太陽光を使う。市役所付近の地下水は水位が低く、難しいと思うが即答はできない。**問** 諏訪重機の管理型最終処分場について、地元同意の必要がなくなったという県条例になぜ変わったのか。**答** 県でなければ正確な理由は分からないが、以前、安曇野市で産廃業者が廃棄物の埋め立てをしようとした際、地元の反対で許可を出さなかったということがあり、業者が県を相手取り裁判を起こし、県が負けた。整合を取るため条例を改正したと思う。**問** 信州Fパワープロジェクトについて、間伐材は何でも受け入れるのか。**答** 製材部門は松と広葉樹ということ

になっている。発電は何でも

良い事になっているが、森林組合が受入の窓口になるので、今後森林整備計画や経営団地化していく中で、この木を伐採していくかが決まってくる。また、松くい虫を防ぐために、松については現地でチップ化して持ち込むこととなる。**問** 防犯灯のLED化について、器具も電気料金も安くなる。設置の補助は変えないということだが、節電等が言われているときに、行政が積極的に率先してLED化を進めるべきでは。**答** 昨年と同様な意見が出ている。値下がりしているし、街灯用に適しているの、ある程度環境が整ったときに対応を考えたい。従来の地域づくり補助の考えではなく、環境問題として申し入れていきたい。



塩尻東地区センター（4月27日）

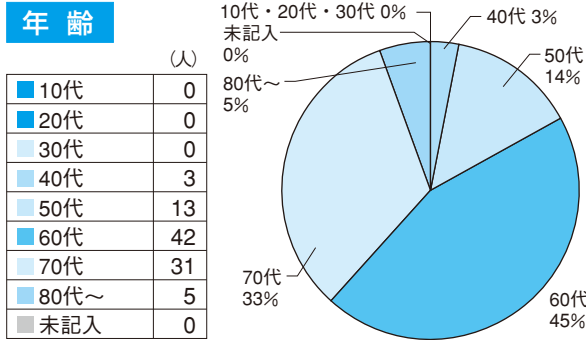


その他の意見

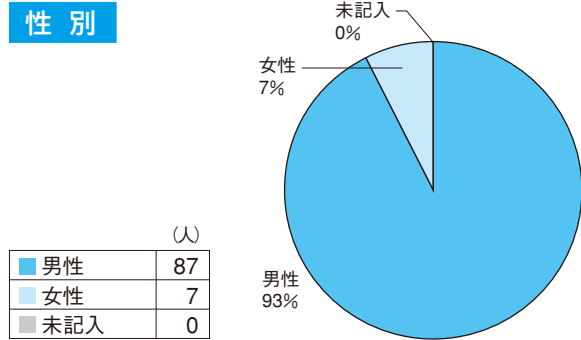
- ・塩尻市のまちづくりとロマン大学院の提言の活用
- ・震災対策の防災備蓄倉庫や要援護者把握の充実
- ・電柱の転倒対策
- ・(仮称)ふれあいセンター
- ・広丘の入浴施設の整備
- ・職員の技術・知識の継承
- ・凍霜害の対策
- ・管理型処分施設の下流の水への影響
- ・バイオマス発電の入浴施設への熱利用
- ・国道への歩道橋の設置
- ・ゴミステーションの管理の緩和
- ・指定管理者制度の改善
- ・避難施設の発電設備は防災費で計上を
- ・報告案件の審査の拡大
- ・信州Fパワープロジェクトの水資源の維持
- ・大腸がん検診無料化の対象
- ・社会福祉センターの重油の回収や建替え
- ・信州Fパワープロジェクトの伐採手続きの簡易化
- ・諏訪重機の管理型最終処分場について周辺市町村の話合いへの参加
- ・区の管轄の仕分け

アンケート結果 (回収率 64%)

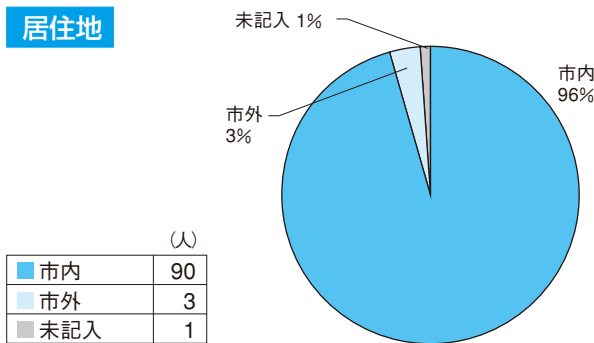
年齢



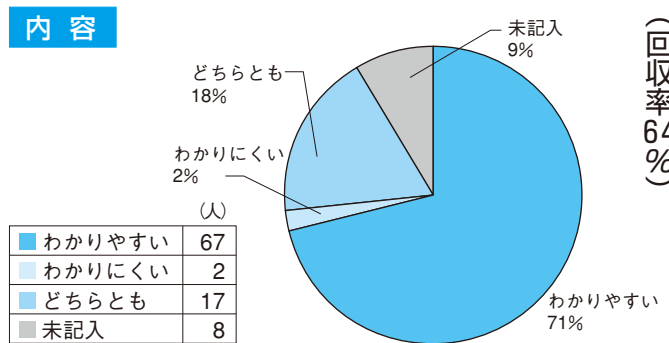
性別



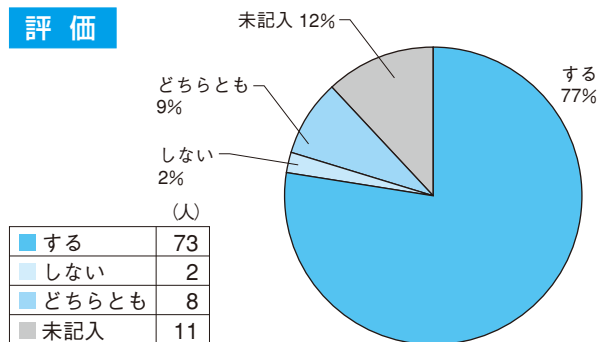
居住地



内容



評価



多くの皆様のご参加をいただき、まことにありがとうございました。ありがとうございました。

次回の議会報告会は
10月 広丘・高出・
洗馬・宗賀・
北小野
の予定になります。
皆様のご参加をお待ちしております。

6月定例会に提出された議案及び議決結果

市長提出議案（36件）

番号	件名	採決結果		議決結果	番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対				賛成	反対	
議案1号	塩尻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	20	0	原案可決	19号	平成25年度塩尻市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	20	0	原案可決
2号	塩尻市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	20	0	原案可決	20号	塩尻市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	20	0	原案可決
3号	塩尻市税外収入金の督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例	20	0	原案可決	報告1号	平成24年度塩尻市一般会計補正予算（第8号）の専決処分報告について	-	-	承認
4号	塩尻市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部を改正する条例	20	0	原案可決	2号	平成24年度塩尻市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分報告について	-	-	承認
5号	塩尻市国民健康保険榑川診療所条例の一部を改正する条例	20	0	原案可決	3号	平成24年度塩尻市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分報告について	-	-	承認
6号	塩尻市新型インフルエンザ等対策本部条例	20	0	原案可決	4号	平成24年度塩尻市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分報告について	-	-	承認
7号	塩尻市労政審議会条例を廃止する条例	20	0	原案可決	5号	平成24年度塩尻市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分報告について	-	-	承認
8号	塩尻市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	20	0	原案可決	6号	平成24年度塩尻市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）の専決処分報告について	-	-	承認
9号	塩尻市公共下水道事業受益者負担金等に関する条例の一部を改正する条例	20	0	原案可決	7号	平成24年度塩尻市国民健康保険榑川診療所事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分報告について	-	-	承認
10号	塩尻市商工業振興条例の一部を改正する条例	20	0	原案可決	8号	平成24年度塩尻市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分報告について	-	-	承認
11号	塩尻市公共下水道条例の一部を改正する条例	20	0	原案可決	9号	平成24年度塩尻市繰越明許費繰越計算書について	-	-	承認
12号	教育委員会委員の任命について	20	0	同意	10号	平成24年度塩尻市水道事業会計予算繰越計算書について	-	-	承認
13号	監査委員の選任について	19	0	同意	11号	平成24年度塩尻市下水道事業会計予算繰越計算書について	-	-	承認
14号	公平委員会委員の選任について	20	0	同意	12号	平成25年度塩尻市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
15号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	20	0	同意	13号	平成25年度一般財団法人塩尻市文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
16号	人権擁護委員の候補者の推薦について	20	0	同意	14号	平成25年度一般財団法人塩尻・木曾地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
17号	市道路線の認定について	20	0	原案可決	15号	平成25年度一般財団法人塩尻市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
18号	平成25年度塩尻市一般会計補正予算（第1号）	20	0	原案可決	16号	平成25年度一般社団法人塩尻市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理

議員提出議案（5件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
議会6月1号	国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書	20	0	可決
2号	長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書	20	0	可決
3号	地方財政の充実・強化を求める意見書	20	0	可決
4号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する意見書	20	0	可決
5号	官行造林契約の見直しに関する意見書	20	0	可決

請願・陳情処理状況（請願3件・陳情1件）

番号	件名	採決結果		採択結果
		賛成	反対	
請願6月1号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する請願	20	0	採択
2号	長野地方裁判所支部における労働審判の開設に関する請願	20	0	採択
3号	榑川地区の官行造林契約満了に関する請願	20	0	採択
陳情6月1号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択の陳情	(総務環境委員会)		採択

※ 議員22名中 1名欠席、議長は採決に加わりません。

区の仕事をすることになってから、より「議会だより」等に関心を持つようになりました。毎年7〜8月頃、地区で次年度の要望等をまとめて市に提出していますが、地区要望がどのように議会を通じ実行されているか確認できるからです。比較的予算の小さな要望は、ほとんど市の担当部とのやり取りで実行されますが、「防災センターの建設」とか、「大規模な道路拡幅工事」等の審議状況は、議会だよりで確認できます。議会報告会も開催されていますが、その時でなければ、市民の声を聞けないのかと思うことと、ややマンネリ化傾向にあること、もっと多くの市民が参加できるような工夫が必要ではないでしょうか。市議会議員と市民双方の意見交換のより多くの機会があつてこそ、より開かれた議会になるのではと期待しています。



吉田 和敬さん
もりた かずたか 森田

より開かれた市議会に期待

市民の声

朗読ボランティアに参加して活動しています。視覚障害者の皆さんへ音声での情報を提供するために、CDへの録音や対面朗読をしています。



大門七区
東浜 良子さん
どうはま よしこ

さらに一層のバリアフリー化を

図書ばかりでなく、月に2回配布の市の広報など行政からのお知らせや、市議会だよりも録音してお届けしています。市議会だよりの朗読をきっかけに実際の議会がどういう形でやりとりされるのかわかりたくなり、何回か傍聴に行きました。議会報告会にも足を運びました。

視覚障害の方も実際に傍聴に行かれば、議場の厳粛な雰囲気も感じることができるとおもいますが、市内には視覚ガイドが不足しているのが現状です。バリアフリーな社会は建物の構造だけでなく、支える人材育成も必要です。今後さらに、誰もが安心して住みやすい塩尻市になることを願っています。

市議会レポート

議会傍聴にお越しください！

塩尻市議会は市民に開かれた議会を目指しており、本会議と委員会など、どなたでも自由に傍聴していただけます。6月定例会も、多くの方に傍聴にお越しいただき、ありがとうございました。



傍聴に来て下さったロマン大学大学院の皆様

本会議の会期中ごろに予定されている一般質問では、市の重要課題から、身近な地域の問題まで、議員各自による行政側への質問が行われています。質問の項目に関しましては、定例会初日の3日後までに市議会ホームページに掲載しております。関心のある質問がございましたら、ぜひ当日、市役所5階傍聴席まで足をお運びください。車椅子での傍聴も可能です。また塩尻市議会では事前に予約いただければ、音の聞こえにくい方へ手話通訳と要約筆記を行っています。また、子育て世代の方への託児についてもご相談ください。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。皆様のお越しを議員一同お待ちしております。

9月定例会の予定

9月 2日	開会日
9月 9日	一般質問
10日	
11日	
12日	委員会審査
13日	
17日	
18日	
19日	
20日	
9月26日	閉会日

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています！

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録画放送も行っています。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録画放映を行っています。ぜひご覧ください。

議会あれこれ

◆5月臨時会で議長、副議長、常任委員会委員長等改選が行われました。

6月議会は新組織での初めての定例会で皆一生懸命取り組んでいる姿が現れております。市民への期待に添い得るよう精進いただくことを期待しております。

◆6月定例会の一般質問の答弁に、県産材利用の推進への取り組みとして、木造公共施設整備というのがあった。定例会終了後の、議員全員協議会で市庁舎大規模改修の説明があり、県産材を利用するか質問したが答えはノー。統一感がない気が…。

◆今議会は大勢のロマン大学大学院の皆様にも、議会を傍聴いただきました。久しぶりに約70席がほほ埋まり、厳粛の中で見ていただいたと思います。講座の行事とはいえず、加をいただき感謝いたします。傍聴席から見ると、全議員の行動も良く見えたようです。

議会基本条例推進委員会 広報部会

- ◎鈴木 明子 ○宮田 伸子
- 五味 東条 横沢 英一
- 山口 恵子 古畑 秀夫
- 永井 泰仁

◎部会長 ○副部会長